

第132回 バンパー DTP セミナー 「あ、それ、今のIllustrator ならこうします!」

鷹野雅弘(スイッチ)

UIの変更

- 1列のツールボックス
- パレットからパネルへ
- コントロールパネル (CS2+)
- タブ付きドキュメントウインドウ (CS4+)
- アプリケーションバー (CS4+)
- アプリケーションフレーム (CS4+)

用語

昔	今
パレット	パネル
アートワークモード	アウトラインモード
アレンジ	重ね順
音引きなし(パスファインダー)	音引きあり(パスファインダー)
スタイル	グラフィックスタイル

青いページ番号は、『10倍ラクするIllustrator仕事術』の参照ページです。

複合シェイプ^o(パスファインダー)

- 複合シェイプを使えば、パスファインダーをかける前、スクラッチエリアにかける前のオブジェクトを取っておく必要はない [pp.10-11](#)
- パスファインダーオプションで[余分なポイントを削除する]オプションをオンにしてから実行すれば、不要なアンカーポイントは削除される [p.98](#)

アピアランス/フィルタ

- [フィルタ]メニューはIllustrator CS4から撤廃。代わりに[効果]メニューを使う [p.12](#)
- 実際のパスに対して適用したい場合には、[アピアランスを分割]を実行する [p.12](#)
- CS4では[トリムマーク]フィルタがないので、カスタムインストールする必要がある http://www.dtp-transit.jp/adobe/illustrator/post_1399.html
- アピアランスをグラフィックスタイルとして登録すれば、ほかのオブジェクトに1クリックで適用できる [p.42](#)
- 変更したアートワークを[グラフィックスタイル]パネルのスウォッチにoptionキーを押しながらドラッグすれば、適用したグラフィックスタイルを一括置換できる [p.43](#)
- option+クリックでグラフィックスタイルを“重ねがけ”できる(例:角丸、ドロップシャドウ) [pp.44-45](#)

アピアランス(テキストまわり)

- アピアランスを使えば、ひとつのテキストオブジェクトにフチやグラデーションを設定可能 [pp.13-14](#)
- レイヤーに対してアピアランスを設定することもできる [p.16](#)
- コントロールパネルでは塗り、線、不透明度を設定できるが、効果は設定できない [アピアランス]パネルなら、すべて編集可能 [p.96](#)
- キーボードショートカットの[ツール]の中で不透明度を設定できる [p.92](#)
→ Photoshopのように、キーボードから不透明度を設定できる
- テキストに対して、それぞれ囲みを付けには、[形状に変換]効果を使う [pp.17-19](#)

テキスト

- 「自動」、「オプティカル」、「プロポーショナルメトリクス」など、多彩な自動カーニング機能が用意されている
[pp.60-63](#)
- インライン入力はオフにするには[テキスト]環境設定の[ラテン文字以外にインライン入力を適用]オプションをオフにする [p.88](#)
- Illustratorでは異体字を入力するには、[字形]パネルで設定する(対応する文字はフォントに依存) [p.63](#)
- 同じ書式を使うには、[スポイトツール]を使うほかに、段落スタイル、文字スタイルを使うことができる [pp.72-75](#)

テキスト互換性

- 下位バージョンに保存するときには、文字がバラバラになってしまう(ポイントテキスト)
これを回避するには、事前に、自動カーニングをオフにしておく [p.65](#)
- 2つのテキストを1つにするには、テキストを選択、カットし、テキストツールでクリックしてペーストする [p.65](#)

スクリプト

- 複数のテキストオブジェクトを1行ごとにバラバラにするには、「テキストばらし」スクリプトを使う [pp.82-83](#)
- ポイントテキストとエリア内テキストの切り替えもスクリプトで可能 [pp.82-83](#)

アートボード

- アートボードの大きさの変更を行うには、[ファイル]→[ドキュメント設定]でなく、次のいずれかを使う
 - (1) アートボードツールを使う
 - (2) オブジェクト→アートボードhttp://www.dtp-transit.jp/adobe/illustrator/post_716.html

線

- 寸法線を描くとき、Illustrator CS5からは[線]パネルで設定すれば再調整不要 [p.101](#)
- 破線を使うときに、四角形の角が揃えるには、[線]パネルの[長さを調整しながら、線分をコーナーやパス先端に合わせて整列]オプションを使用する [pp.46-49](#)
- 塗りの大きさを変更せずに線幅だけを変更するには、[線の位置]を[外側]に設定する
- 眉毛のように途中で線幅が変わるアートワークを1つのパスで描くには、[線幅ツール]を使う

整列

- 整列の際、動かしたくないオブジェクトにはキーオブジェクトを設定する [p.119](#)
- アクションを設定しておけば、キーボードショートカットで整列できる [p.95](#)
- アンカーポイントの整列は、[整列]パネルで設定可能
スムーズポイント/コーナーポイントの切り替えも可能

画像の配置とマスク

- 画像を配置するには、[ファイル]→[配置]を使って、ひとつずつ行うほか、FinderやBridgeから(複数画像を)ドラッグ&ドロップできる [p.106](#)
- その際、shiftキーを押しながらだと、埋め込みになる [p.106](#)
- マスクを設定しているとき、マスクされているオブジェクトの選択/編集するには、オブジェクト→クリッピングマスク→オブジェクトを編集を使う(または、コントロールパネルのボタンを利用する) [p.107](#)
- 配置したビットマップ画像をマスクするには、配置直後なら、コントロールパネルの[マスク]ボタンをクリックすればOK [pp.106-107](#)
- Illustratorでは、ボケ足のあるマスクを作成するには、不透明マスクを使う [pp.36-37](#)